

**上手に貼るために下記の項目を  
必ずお読みください。**

**ご購入の前に確認してください。**

ヒビ等の破損があるガラスには貼らないでください。

貼る面の適否												
貼る面の種類	透明板ガラス	型板ガラス		網入りガラス		くもりガラス		複層ガラス		真空二重ガラス	熱線吸収／反射ガラス などの合わせガラス	有機ガラス (アクリル板など)
		平滑面	凹凸面	平滑面	凹凸面	平滑面	凹凸面	平滑面	凹凸面			
適否	●	●	▲ ※2	× ※1	× ※1	●	▲ ※2	× ※1	× ※1	× ※1	× ※1	×

※1 温度変化でガラスが割れる場合があります。  
(熱割れ現象)

※2 水貼りはできませんが、両面テープを使用して貼りつけることができます。その場合は、プラスチック用両面テープをお使いください。(この場合シートをはがす際にのり残ります。)

## 使用方法

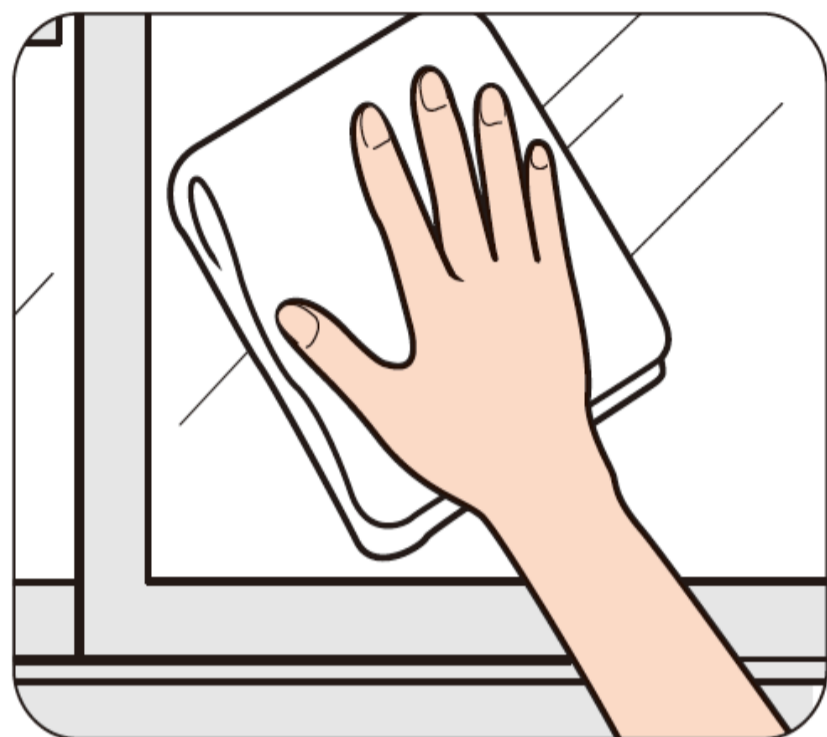
- このシートは必ず屋内側のガラスに貼りつけてください。
- 水を使用しますので古紙等を敷き、水濡れ対策をしてください。

## 用意するもの

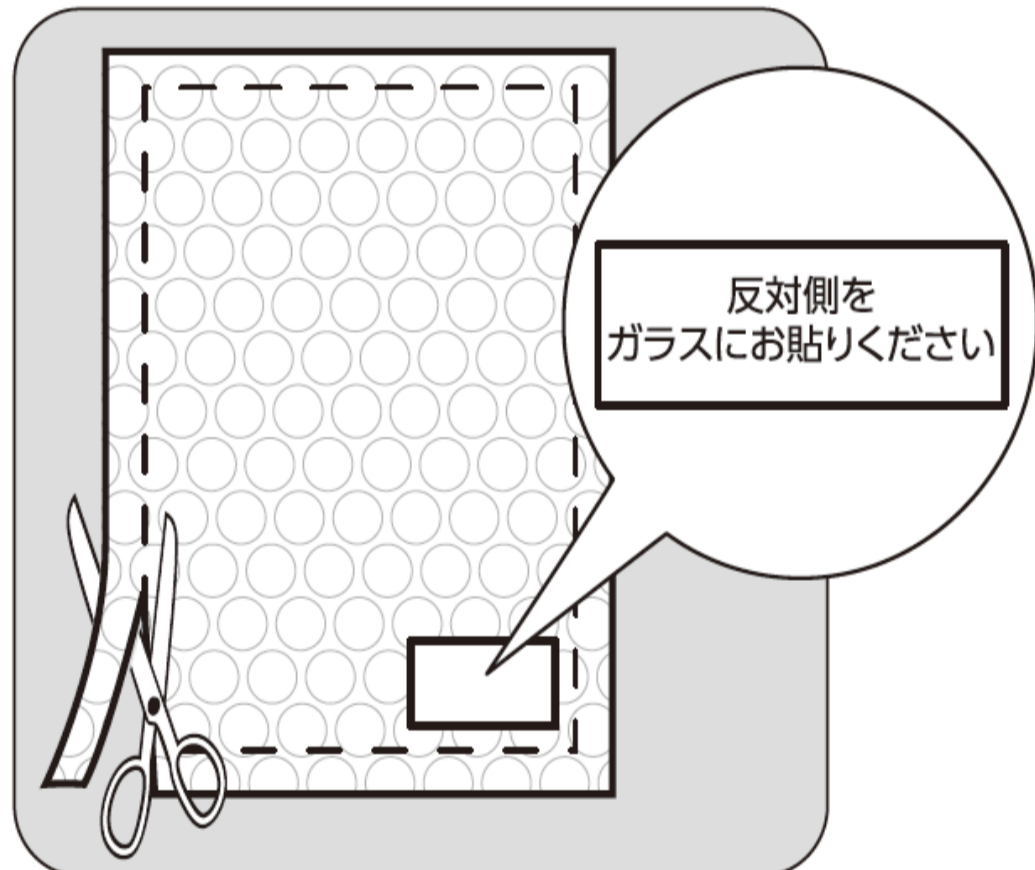
- 定規 ●ハサミ(カッター)
- 霧吹き ●タオル
- 古紙等(水ダレによる床面保護のため)

① ガラス面を清掃します。  
屋内側のガラス面のホコリや油、水分、洗剤などをきれいにふき取ってください。(貼りつきにくくなるので化学雑巾は使用しないでください。)

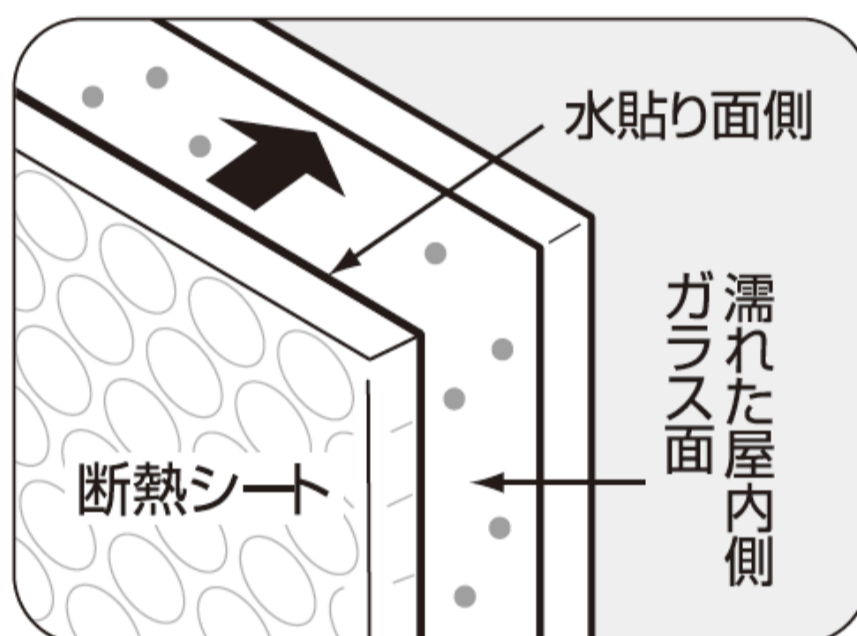
※洗剤等を使用した場合は洗剤分をよくふき取ってください。



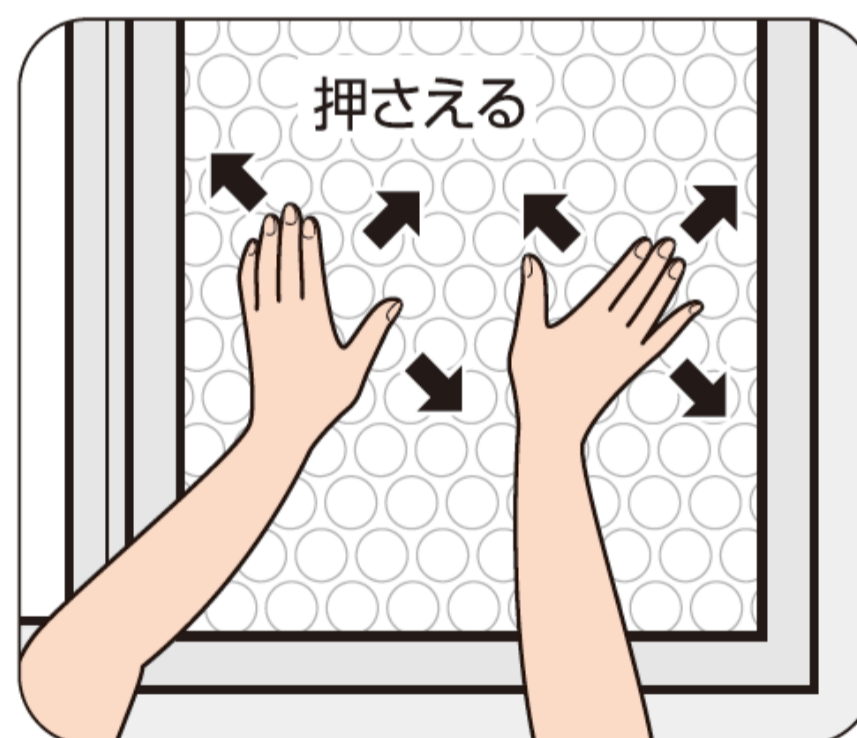
② シートをカットします。  
ハサミやカッター等でシートをガラスの大きさに合わせて切ります。  
※「反対側をガラスにお貼りください」シールを残してカットしてください。



③ 屋内側のガラス面へ貼りつけます。  
霧吹きでガラスに水がたれるくらいたっぷりスプレーし、「反対側をガラスにお貼りください」シールをはがし、反対側をガラスに貼ります。



シートを手のひらで軽く押さえながら貼ってください。(水の量が少ないと貼りつきにくいので、多めにスプレーしてください。)



※水が完全に乾くまでは充分密着しません。シートの浮きやはがれが発生した場合はもう一度貼り直してください。

※貼る面を間違えるとはがれてしまうので注意してください。

## 特 長

- 冷暖房機器の電気代の節約に。
- 空気層の効果で、窓ガラスの熱の伝わりを小さくし、冷暖房効果を高めます。
- 結露の抑制にも効果があります。
- 粘着テープを使わず水で貼るため、貼りやすく、はがす時もきれいにはがせます。

## ×使用できない場所

- 熱線反射ガラス、熱線吸収ガラス(Low-Eガラス)、網入りガラス、真空二重ガラスなど特殊なガラスは割れる恐れがありますので貼らないでください。  
※お住まいの窓ガラスについてご不明な点は、窓ガラスメーカーにお問い合わせください。
- すりガラス、ザラザラ面や凹凸面のガラス、有機ガラス(アクリル板)、ガラス飛散フィルムを貼ってあるガラス、特殊処理されているガラス(断熱スプレー等)は貼りつきません。
- 窓ガラスの屋外側。
- 水がかかり乾燥しにくい所。
- 天窓等の垂直でない面。

## ご使用上の注意

- 結露の発生は気温などの環境条件(外気との温度差、室内の湿度等)により変化しますので、完全に抑えることができない場合があります。
- 表面が高温になるところやストーブなどの火のそばでは使用しないでください。
- 紫外線や熱の影響により密着力が落ちることがあります。1シーズンを目安に貼り換えすることをおすすめします。
- 万一、ガラスに跡が残った場合はガラスクリーナーまたはガラス用のメラミンフォームでこすり落としてください。
- 粘着剤などの強固な接着力が無いので、強風などでシートに力がかかるとはがれる場合があります。万一はがれた場合はもう一度貼り直してください。  
貼りつけ強度をお求めの際は両面テープを使用して貼りつけることもできます。  
その際はプラスチック用両面テープをお使いください。  
テープは貼りつけるガラス面にふちどるように全周に貼ってください。なお、この場合シートをはがす際にのり残りします。
- ガラス飛散防止効果はありません。
- 使用後の廃棄は自治体ルールに従ってください。